

# スクールホットライン

## 「感動の夏」

from 豊山中学校

七月十一日・十二日に西春日井地区の運動部の大会が、二十八日に吹奏楽東尾張地区大会が行われました。

夏の大会に向けて、生徒達は力を合わせて練習に取り組んできました。その集大成がこの大会です。期待と不安が入り交じった緊張感の中、持てる力をすべて出し尽くそうと生徒達は取り組みました。その必死さから、多くの感動とドラマが生まれました。今まで苦楽をともにしてきた仲間と一緒に流した汗と涙、そして感動は、一生忘れられない思い出となったことでしょう。

西春日井地区大会では、本年度、優勝旗二本を獲得することができました。夏の大会の主な結果は以下の通りです。

(団体)  
軟式野球 地区大会優勝  
愛日大会準優勝  
地区大会優勝

女子バスケット 愛日大会第三位  
地区大会準優勝  
地区大会優勝

女子卓球 地区大会準優勝  
地区大会準優勝  
地区大会準優勝

サッカー 地区大会第三位  
地区大会第三位  
地区大会第三位

吹奏楽 東尾張地区大会 金賞

(個人)  
女子卓球 伊藤舞香

地区大会第三位・愛日大会第五位  
(県大会出場)

丹羽千乃

地区大会第五位

男子卓球

齊藤杏

地区大会第六位

男子テニス

坂口光樹・鉄崎凌大

地区大会第四位

陸上

赤嶺あいな

愛日大会 一年女子八百M第三位

(県大会出場)



吹奏楽部

女子バスケットボール部



野球部

## 第百八十三話

### 甘藷利用のおやつ

戦争中から敗戦直後の昭和二十年代前半は、どこの家庭でも食糧難で、甘いものに飢えた生活をしていました。

生甘藷を切り干しにしたものは、供出米の代わりになった時もありました。一方で甘藷いもを子どものおやつとしてまんじゅうにして食べたこともありました。干した甘藷いもを農協に持って行き、挽いて粉にして、小麦粉と混ぜ合わせて手でこねます。丸めて蒸します。出ま上がりは黒くて、見た目はよくありませんが、砂糖なしでも結構甘くて、当時としてはおいしく何よりのおやつでした。

終戦直後の娘さんたちのお茶のおけいこの時にもこの黒まんじゅうをいただき、その素朴な味が今でも最も印象に残っています。おにまんじゅう、ふかしいも、焼き芋、茶きんしぼり、いもせんべいなどは現在に至るまでも添加物もなく、おいしく



物もなく、おいしく  
いただいております。  
あの、戦争という  
厳しい時代に運命を  
翻弄された人々は「空

き腹にまずいものなし」といわれて、実に貧しい食生活でした。調味料も乏しい時代に甘藷いもを砂糖の代用として、幅広く活用して食糧難を乗り切りました。

本当にいつまでも忘れ難い故郷の味、お母さんの味であります。  
今は昔の物語です。  
(豊山町文化財研究会の郷土文集を参考にしました)

